

皮膚科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

皮膚という目で見える臓器に現れるあらゆる疾患が対象であり, これらの診断, 治療を行うための基本的な知識を習得することを目的とする。

2 皮膚科研修の特徴

対象疾患は, 湿疹・皮膚炎群, アレルギー性疾患, 角化症, 皮膚感染症, 皮膚自己免疫疾患, 膠原病, 熱傷, 皮膚潰瘍, 皮膚良性及び悪性腫瘍など多岐に及ぶ。それら皮膚病変は目で見ることが出来, また治療効果も確認しやすいという特徴がある。皮膚病変を見ることによって, どのような鑑別疾患が考えられ, どのような検査が必要であるか懸案してもらい, また, その治療効果も自分で確認してもらう。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

外来新患の予診を取り, 指導医とともに診断, 検査, 治療について考えてもらう。
検査として皮膚病変の診断を確定するために必須の検査が皮膚生検である。また, 薬疹や接触皮膚炎の原因検索に必要なものが皮膚貼付試験である。これらを実際行ってもらい, その皮膚病理や貼付試験の結果の解釈について学んでもらう。

4 目標達成の評価

自ら経験した皮膚生検や皮膚貼付試験について簡潔にまとめてもらい, 疑問点などをディスカッションし, 理解度判定の尺度とする。

5 検査

皮膚科特有の検査として次のものを経験してもらう。
・皮膚生検, 皮膚貼付試験, 真菌鏡検, ダーモスコピー

6 カンファランス

切除した検体の皮膚病理について
手術症例, 入院患者について

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	新患予診	病棟処置, 皮膚生検, 小手術など	
火	新患予診	手術	
水	新患予診	病棟処置, 皮膚生検, 小手術など	
木	新患予診	手術	
金	新患予診	病棟処置, 皮膚生検, 小手術など	